

「おおおいしだめ」とんとむがすあつたけど②1

北目のきたろう その一

むがすむがす、あつたけど。
鷹巣から駒籠に行く途中さ、高北目ていうどごあって、ほごさ、人をだますな上手で、いたずら好きな狐いだけ。みんながだまされるので、その狐に『北目のきたろう』て言う名前をつけていだけ。

駒籠のお祭りだ、むがさりなごさ、呼ばっていつて、おづづみ（ごちそう）などをもらってくつど、きたろうにだまされて、みなとられたなだけ。お祭りやむがさりのおづづみには、狐の好きな魚や昆布巻きにしないと、こんにやくと油揚げなどが入っている。きたろうは、いつでもねらってえんなだけ。

鷹巣さ仲良く働きの兄と弟、いだけ。毎日二人そろって高北目さ、肥やすする草刈りにいくなだけ。その頃、今みだえな化学肥料のなえす、馬屋肥（馬の排泄物や敷きわらなどを肥料にした物）入ったり、草刈ったのを積み重ねで腐れらがして、田さ入ったりしていんなだけ。その草を六尺（約二メートル位）積み重ね目出たて言うなで、六尺餅ついで喰へんなだけ。んだげんと、下の方から腐れていくなで、ながながたまらなくて、六尺積むのは大変なごだだけ。若い衆だ、

「おら、六尺餅食ったぜは。」
て自慢すんなだけ。一生けんめい晩かたまで草刈って、その草を馬の背中さいっばいつて夕あがりすんなだけ。
ある時、朝の小暗いうち、兄と弟、馬一匹ずつひっばって、歌がけで元気よく草刈りに出がげだけ。村の人だ、二人を見

「えつつも仲良え兄と弟、今日も出がげだ。良え若い衆だご。家のしたず（人たち）ばも起ごさんなねは。」
て、言てんなだけ。

ほして、二人は、高北目の草刈り場さ着いで、
「ああ、今日も一生けんめい草刈んべにや、弟。」

「んだにや、兄。」

て言て、二人は、ガツ、ガツ、ガツ、ガツ、ガツ、一生けんめい草刈っていだけ。

ほしたら後ろがら、若いな娘、ひよいと出てきたので、兄、草刈りの手やすめで、ありや、めんごい娘だご。こごらで見だごのなえくらえ良え娘だ。どごのだばやて、指くわえて見どれだけ。

ほの娘あ、かすりの浴衣さ赤い帯しめで、赤え腰巻（着物の下ばき）ば膝かぶの下まで下げで、真っ白いな手ぬぐいば姉さんかぶりにして、風呂敷包みをたがて（持つて）、チョコ、チョコ、チョコとこつの方さ歩いて来たご。

ほして、馬つないんだごまできて止まで、風呂敷包みほいて、中の重箱さ馬ん糞ば一つずつ拾てきれいぐ並べだご。ありや、あの娘、馬ん糞ばきれいぐ詰めて何するかんじよだべ。はあ、んだんだ、この娘あただの娘なのんね。北目のきたろうが娘に化げだご。ようし、何すつか見でけらんね、と思つていだら、娘あ、馬ん糞の入った重箱ば、風呂敷さ包んで手ささげて、また、歩き始めだご。

兄はそつとついで行つたら、崖の下の家の中さ入って行つたご。

「ありや、ありや、入って行つた、入って行つた。ようし。」
兄、裏さ回つて小窓から覗いで見だえば、娘あ風呂敷広げで、まんじゅうを出したご。ほんで、兄が、大つけな声で、
「やあ、やあ、はいずまんじゅうななくて、馬ん糞だ。はえす食うど腹痛ぐすつぞ。その娘あ北目のきたろうだ。だまされんなな。」
て、さかんだけご。

○出典『大石田のんとむがす』
（大石田のんとむがすの会編集・発行、二〇一九年）

（つづく）

町の人口		令和4年4月1日現在	令和3年度中の異動 R3.4.1~R4.3.31
世帯数	2,269戸	(+4)	-34戸
総人口	6,471人	(-26)	-160人
男	3,208人	(-8)	-68人
女	3,263人	(-18)	-92人
(3月中の異動)		令和3年度中の異動 R3.4.1~R4.3.31	
出生	1人	転入21人	20人 87人
死亡	10人	転出38人	112人 179人

※この人数は外国人も含めたものです。

防災放送の内容を 電話で確認できます

防災放送が聞き取りにくい、放送内容を確認したい等のご意見をいただき、町では防災放送確認ダイヤルサービスを開始しました。

このダイヤルは定時(夕方6時のメロディ等)放送を含め、直近の放送から8時間以内の内容を順次聞くことができます。

確認ダイヤル: 0237-48-8444

■総務課総務グループ Tel.35-2111 (内線218)

大石田町公式アカウント開設

LINEはじめました

防災情報などを
受け取ることができます。

**友だち登録を
お願いします!**

登録方法

右の二次元コードを読み
取って友だちに追加して
ください。



大石田町公式LINE